



Mg(マグネシウム)クラッチカバーキット 取扱説明書

商品番号 : 02-01-500BR (ブラウン)
 : 02-01-500SI (シルバー)
 : 02-01-500B (ブラック)
適応車種 : モンキー/ゴリラ/CRF50F
適応製品 : スペシャルクラッチスタンダードキット及び
 オイルフィルター付サンドキャスト製スペシャルクラッチキット取り付け車

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きまします。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

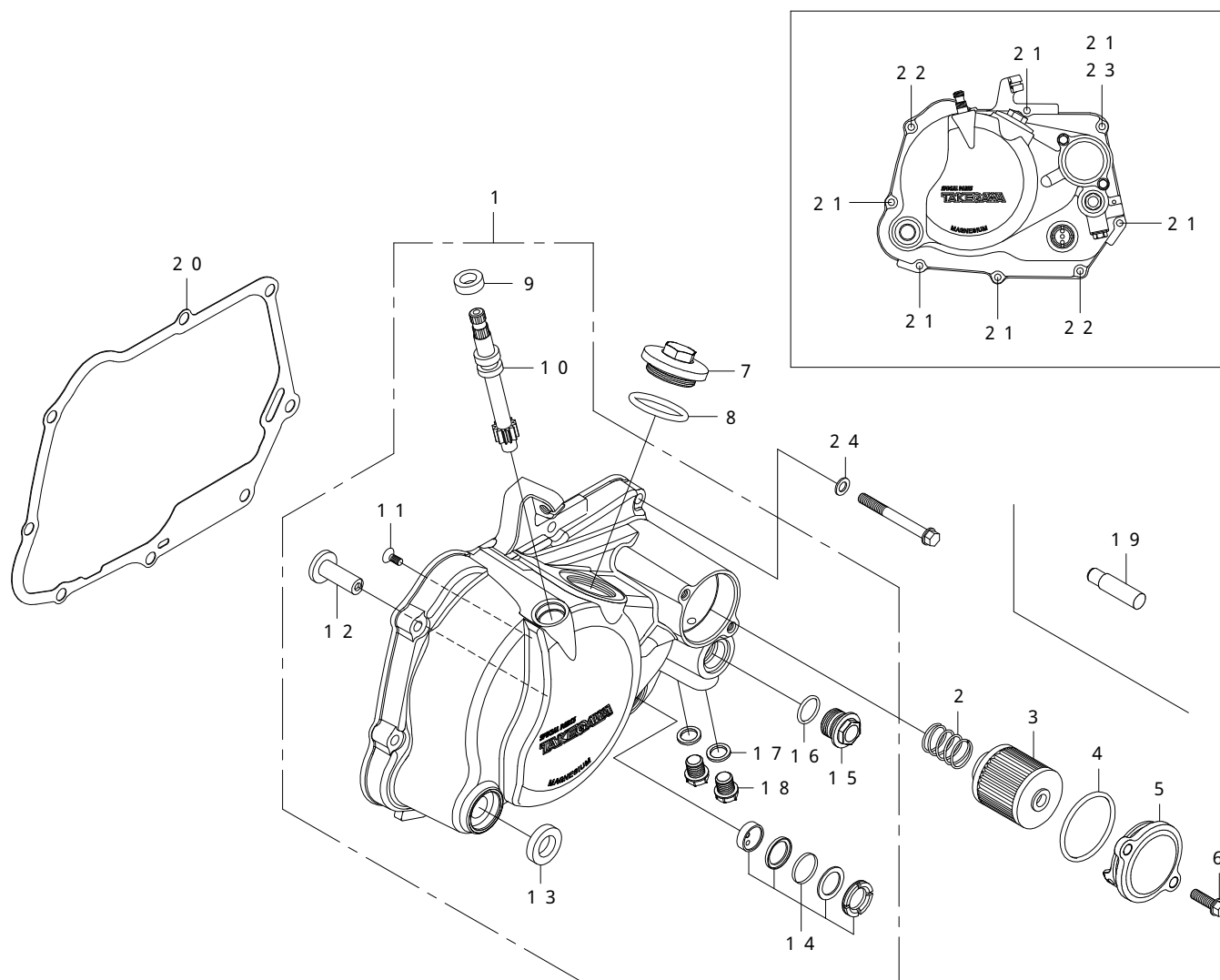
注意 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

警告 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

商品内容



番号	部品名	個数	番号	部品名	個数
1	Mg - R.クランクケースカバーASSY.	1	13	オイルシール 13.8 X 24 X 5	1
2	オイルフィルタースプリング	1	14	オイルポットウインドーセット	1
3	オイルフィルターエレメント	1	15	サーモスタットホールキャップ	1
4	Oリング 40mm	1	16	Oリング 15mm	1
5	オイルフィルターカバー	1	17	シーリングワッシャ 10mm	2
6	フランジボルト 6 X 16	2	18	オイルプラグボルト	2
7	ホールキャップ	1	19	オイルホールプラグ	1
8	Oリング 30mm	1	20	R.クランクケースカバーガスケット	1
9	オイルシール 10 X 17 X 5	1	21	フランジボルト 6 X 25	6
10	クラッチリリースピニオン	1	22	フランジボルト 6 X 30	2
11	フラットヘッドスクリュー 4 X 10	1	23	フランジボルト 6 X 70 (C.D.I.車のみ)	1
12	クラッチリリースラック	1	24	アルミワッシャ 6mm	10

特 徴

クラッチカバー及び、オイルフィルターカバーはダイカスト製で、クラッチカバーの材質に比重 1.7 と軽量なマグネシウム合金を使用。

表面は防錆処理後リキッドペイント又は、パウダーペイントの 2 種類を設定。

オプションで形状記憶合金スプリングを使用した、サーモスタットの取り付けが可能。(特許出願中)

クラッチカバー一体式のクラッチケーブルレシーバーを採用。

クラッチカバー本体にサーモメーターのスティックセンサーが取り付け可能。

クラッチカバー本体よりオイルクーラーへのオイル取り出しが可能。

オイル点検窓は従来通り、耐久性の高いガラスタイプを使用。

使用上のご注意

マグネシウムクラッチカバー単体での使用は出来ません。必ず別売りのスペシャルクラッチスタンダードキット又は、オイルフィルター付スペシャルクラッチキットが必要です。

オイルフィルター付スペシャルクラッチキット取り付け車の場合は、上側エンジンマウントボルトを抜き、クラッチケーブルレシーバーを取り外して下さい。

上側エンジンマウントボルトは、必ずノーマル部品を使用して下さい。

オイルフィルターカバー部に取り付け出来るオイルクーラーユニットは、寸法が異なるため使用出来ません。オイルラインは、所定の位置でのみ使用可能です。

従来のオイルクーラーホースは、寸法が異なるため使用出来ません。マグネシウムカバー専用部品をご使用下さい。

オイルフィルターカバー及び、クラッチレリーズラックはマグネシウムカバー専用部品です。従来品との互換性はありません。

サーモユニットを使用しないで、オイルクーラーを取り付ける場合、付属のオイルホールプラグを取り付けて下さい。

又、オイルクーラーを使用しない状態では、オイルホールプラグを取り付けしないで下さい。油圧経路が遮断されカバーが破損する可能性があります。

キックスタータースピンドル用ブラインドプラグは、従来品と寸法が異なります。マグネシウムカバー専用部品をご使用下さい。

サーモユニット、オイルクーラー等に付いては、各製品の取扱説明書をご確認下さい。

取 り 付 け 要 領

(すでにスペシャルクラッチキットが
組み付けされている場合)

R . クランクケースカバー取り外し

- 1 . メンテナンススタンドを使用し、車両を安定させます。
- 2 . 受け皿を用意します。ドレンボルトを取り外してエンジンオイルを抜き取ります。
- 3 . リヤブレーキアジャスティングナット、ブレーキペダルスプリング、ストップスイッチスプリング、ステップバー、キックスターターアームをそれぞれ取り外します。
- 4 . クラッチレリーズアームのボルトを外し、クラッチレリーズアーム、レリーズアームスプリング、ブレンワッシャをそれぞれ取り外します。
- 5 . エンジン底部に適当な台を用意し、エンジンを支えた状態で上側エンジンマウントボルトを抜き取ります。
- 6 . ノーマルのエンジンマウントボルトを取り付け、ナットを指定トルクで締め付けます。
トルク：25 N・m (2.5 kgf・m)
- 7 . R . クランクケースカバーのボルトを取り外し、R . クランクケースカバー、R . クランクケースカバーガスケット、ノックピン 2 本を取り外します。

(スペシャルクラッチスタンダードキットと
同時装着の場合)

スペシャルクラッチスタンダードキットの取扱説明書に従い、組み付けて下さい。

R . クランクケースカバー取り付け

- 1 . R . クランクケースカバーとクランクケースの合わせ面を脱脂し、ノックピン 2 本とガスケットを取り付けます。
合わせ面にガスケット材が付着している場合は、完全に取り除いて下さい。
オイルフィルタースクリーンを取り外し清掃して下さい。
- 2 . キックスタータースピンドル部、クランクシャフト部のオイルシールを損傷させないように注意して、R . クランクケースカバーを取り付けます。
- 3 . フランジボルト 8 本にアルミワッシャを取り付け、対角に数回に分け指定トルクで締め付けます。
トルク：7 N・m (0.7 kgf・m)
ポイント車と C . D . I 車ではボルトの長さが異なります。
- 4 . オイルフィルタースプリングを R . クランクケースカバーオイルフィルター部内の突起部にセットします。
オイルフィルターカバー突起部にオイルフィルターを差し込みます。
オイルフィルターカバーの Oリングにエンジンオイルを塗布し、Oリングの噛み込みに注意して R . クランクケースカバーに取り付けます。
フランジボルトを取り付け指定トルクで締め付けます。
トルク：9 N・m (0.9 kgf・m)
アルミワッシャは使用しません。
- 5 . ドレンボルトを指定トルクで締め付け、エンジンオイルを 800 cc 注入します。
トルク：21.5 N・m (2.2 kgf・m)
ホールキャップの Oリングにエンジンオイルを塗布し、キャップを指定トルクで締め付けます。
トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)
クランクケースの分解作業を伴う場合は、エンジンオイルを 850 cc 注入して下さい。
エンジンオイルの粘度と量は、クラッチの切れ具合に影響します。
粘度が高すぎる物や入れ過ぎに注意して下さい。又、クラッチの滑りの原因となる為、モリブデン等の過剰混入はしないで下さい。

クラッチケーブルの取り付け

1. クラッチレバーにクラッチケーブルを取り付け、ケーブルに無理が掛からないようにクラッチケーブルレシーバーまで取り回します。
2. クラッチケーブルのアジャスター部をケーブルレシーバーに一杯までねじ込み、クラッチレリーズアーム割り締め部の切り欠きが、後方に向くようにケーブルエンドをアームに取り付けます。
3. クラッチレリーズピニオンを時計回りに止まる位置まで回転させレリーズピニオンにプレーンワッシャを入れます。
4. クラッチレリーズアームにレリーズアームスプリングをセットしインナーケーブルを引っ張った状態でレリーズピニオンに差し込み、アームスプリングをR.クラックケースカバーに引っ掛けます。
5. レリーズアームにフランジボルトを取り付け、アームを押し込んだ状態でボルトを指定トルクで締め付けます。
トルク：10N・m(1.0kgf・m)
6. クラッチケーブルのアジャスト部でクラッチの遊びを調整し、ロックナットを指定トルクで締め付けて、ゴムキャップをそれぞれ被せます。
トルク：10N・m(1.0kgf・m)
クラッチの遊び：クラッチレバー先端10～20mm
7. 取り外した部品を逆手順で取り付けます。

組み付け後の点検

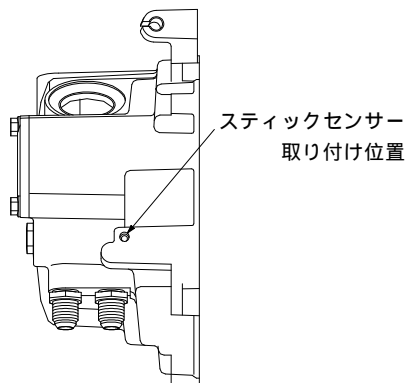
1. エンジン停止状態でトランスミッションを1速にシフトし、クラッチレバーを握った状態で車両を動かした際、リヤホイールが回転し、クラッチレバーを放した状態でリヤホイールが回転しない事を確認して下さい。
2. トランスミッションがニュートラル状態でエンジンを始動し、各部のオイル漏れ等を点検します。
異常が無ければ安全な場所で、低速で走行テストを行いクラッチの作動を確認して下さい。

サーモユニット取り付け

サーモスタットホールキャップを取り外し、サーモユニットを取り付けます。
サーモユニット取扱説明書をご確認下さい。
サーモユニット単体での使用は出来ません。

サーモメーター用スティックセンサー取り付け

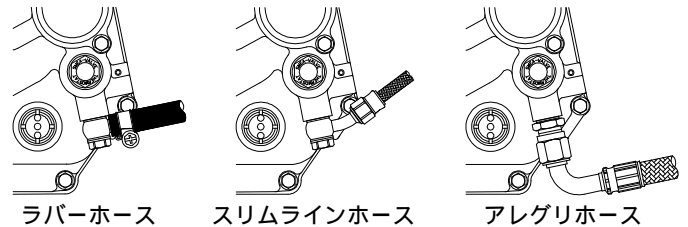
スティックセンサー取り付け穴にセンサーを差し込み、ソケットセットスクリューで固定します。
サーモメーター取扱説明書をご確認下さい。



オイルクーラー取り付け

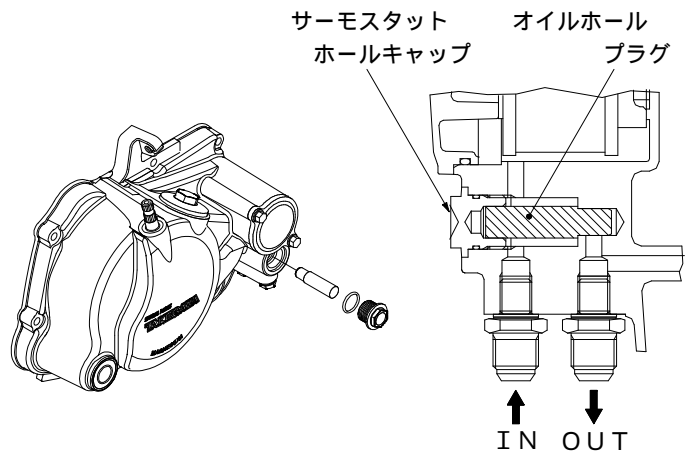
サーモユニットを取り付ける場合

1. サーモユニットを取り付けます。
2. オイルプラグボルト2本を取り外し、使用するホースの種類に適合するアダプターを取り付け、ホースを接続します。
サーモユニット取扱説明書をご確認下さい。
オイルクーラーキット取扱説明書及び、アダプター取扱説明書をご確認下さい。



サーモユニットを取り付けない場合

1. サーモスタットホールキャップを取り外し、付属のオイルホールプラグをオイルホールに差し込みます。
2. サーモスタットホールキャップのOリングにエンジンオイルを塗布し、ホールキャップを指定トルクで締め付けます。
トルク：13N・m(1.3kgf・m)
3. オイルプラグボルト2本を取り外し、使用するホースの種類に適合するアダプターを取り付け、ホースを接続します。
オイルクーラーキット取扱説明書及び、アダプター取扱説明書をご確認下さい。



シリンダーヘッド側にオイルホースを取り付ける場合

作業の必要はありません。そのままの状態で使用して下さい。
サーモユニットやオイルホールプラグは絶対に取り付けないで下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>

マグネシウム製品の取扱について

マグネシウムの比重（1.7）は、アルミニウムの比重（2.7）に比べ約2/3と軽量です。
マグネシウム合金は、実用金属中最も軽い金属で、アルミニウム合金より比強度が優れ、衝撃吸収性にも優れています。
反面、マグネシウム素材は、化学反応や腐食を起こしやすい性質を持っています。
そのため製品には防錆処理を施し、その後リキッド塗装等の表面処理をしています。

ご注意（重要）

塗装面はボルトの締め付け時や、各部品の取り付け時に塗装が割れたり剥がれたりする場合があります。又、塗装は打痕や飛び石等により損傷する場合があります。取扱にはご注意ください。

ダイカスト製品の特性上、形状による肉厚の違いで、加工面に巣が発生しますが性能上問題はありません。

通常マグネシウム合金の耐久性は、アルミニウム合金に比べ、腐食等により若干低くなります。そのため製品の各部分を良く点検し、クラックや腐食の有無を必ずご確認ください。

マグネシウム製品の加工は一切行わないで下さい。化学反応をしやすい材質のため、切削加工等の切粉に加工熱が加わった場合や、火種を近づけると燃焼します。体積に対して表面積の大きい物（小さい物、細い物）程燃えやすくなります。又、燃焼しているマグネシウムに水をかけると化学反応を助長し大変危険です。

お手入れ方法

表面に汚れが付着した場合は、柔らかい布で拭き取って下さい。汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を含ませた布を固く絞り汚れを拭き取り、乾いた布で水分を取り除いて下さい。

安全により永くご使用頂くために下記事項をご遵守下さい

雨天走行や洗車等で水分が付着した場合は、水分を取り除いて下さい。

塗装の割れや剥がれが生じた場合は、速やかにタッチアップペイント等で補修して下さい。

金属部分が削れたり、欠けたりする損傷をうけた場合、直ちに補修又は、新品と交換して下さい。

マグネシウム製品を塗装する場合は、現在の塗装を剥離しないで下さい。防錆処理が剥がれると耐腐食性が著しく低下しますのでご注意ください。

マグネシウム製品に付属の固定ボルト用アルミワッシャは必ず分解ごとに新品と交換して下さい。そのまま使用されますと塗装を傷めます。

又、固定ボルトは必ず付属のフランジボルトをご使用下さい。他のボルトを使用した場合、面圧の関係上塗装を傷める可能性が有ります。

補修用アルミワッシャ 品番：020-01-0001（20枚入り）をお求め下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>